



いわき

意和氣の力と心でチャレンジ!
2018
Chance Change Charge Challenge

由利本荘市立岩城中学校

No. 61

平成31年3月13日

卒業式



9日(土)、多数のご来賓の皆様や保護者・地域の方々の出席をいただきながら、平成30年度卒業式を挙行了しました。卒業生はもちろんですが在校生の心も一つになり、

卒業式を感動的に成功させてくれました。今年度における本校学校運営の集大成の一つでもあります。出席された皆様からも、「すばらしい感動的な卒業式でした」と感想をいただきました。

私は、式辞として、3年生の耀り輝く数々の活躍を紹介しました。また、はなむけの言葉を贈りたいと思い、ここ数ヶ月の間、様々な言葉に思いを巡らしてきましたが、なかなかこれだと思える言葉が見つかりませんでした。しかし、私の最後の卒業生に贈る言葉は、やはり、この二つしかないという思いに達しました。それは、私が、岩中で5年間、言い続けてきたことです。

一つ目は、「4つのCH」です。ピンチは、大なり小なり、生きている限り、どうしてもやってきます。しかし、超えられないピンチを神様は与えないのだそうです。ピンチの時には「チャンス」だと、心を「チェンジ」し、力と心を「チャージ」して、前向きに果敢に「チャレンジ」しよう。そうです、「4つのCH」なのです。みなさんは、約15年間生きています。その中でも特に、岩中の3年間は、ピンチを「CH」で超えてきました。だから、今、ここにいるのです。5つ目のCHは、時折、あげました。今は、6つ目のCHを獲得しています。みなさんは、岩中のチャンピオンです。



二つ目は、意和氣の氣、「氣力」です。「氣力」ということを言い続けてきました。団旗の中にも「氣力」という文字が入っていますね。団旗作

成には、鈴木会長さんが、尽力してくださり、寄付によって昨年度、完成しました。ありがとうございます。「氣力」の「氣」という漢字は、昔の字です。わざと昔の字を使っています。中の米という字、米はエネルギーの源です。又、米の形は、そのエネルギーが四方八方に向かっていく様子を表しています。諦めない気持ちが「氣力」なのです。諦めてはいけません。どんな状況でも、自分のできる限りのことをし、諦めない気持ち、それが「氣力」です。また、氣力は、人を思う事で強くなります。思われる事で、もっと強くなるのです。人間は、一人では生きていけないし、そんなに強くないと思います。心が揺れることもあります。間違いや失敗、誤りをおかすこともあると思います。それでも、人間はそこから立ち上がることができるのです。そこで必要なのが「氣力」です。その力は間違いなく皆さん、全員がもっています。岩城

中学校で得た力「氣力」ですから、「氣力」で夢や希望・目標に向かって行ってください。夢や希望、目標は、それをもつ人間を、強くしてくれるますし、励ましてくれます。迷った時、道を照らしてくれるのです。

これからは、さらに辛い問題や課題などのピンチがあるかもしれません。皆さんがどこにいてもどこを見ている、皆さんの親や家族、学校の先生、地域の人たちなど多くの人たちが見守っています。前を向いて、果敢に進んでいってください。皆さんなら、もう『4つのCH』と『氣力』をもっているのでも乗り越えられます。『意和氣の力と心』でチャレンジFinalの人たちですから…。

私は、皆さんのようなすばらしい生徒に出会えて、本当に幸せです。また、誇りに思っています。ありがとうございます。

というような言葉を贈りました。

送辞(抜粹)在校生代表 ** **



不安でいっぱいだった1年生の4月、私たちに優しく案内してくれたのは2年生でした。あの春の日を私は今でもはっきりと覚えています。それ以来、私たち在校生にとってみなさんは、常に道しるべであり心強いあこがれの存在でした。先輩方との思い出を振り返ってみると、いつも先頭を走りながら、私たちの背中を、優しく押してくださっていたことに、改めて気づきます。

運動会では、どの種目にも全力を尽くし、クラスで団結する姿に圧倒されました。そして、スタートして間もない春に、1年生にも2年生にも、温かい声援を送ってくれる3年生の包容力のお陰で、岩城中学校が、ひとつになったと感じました。

秋の岩中祭には、おもてなしの心が、あふれていました。逸品食堂での笑顔、長蛇の列に期待と不安がふくらんだお楽しみコーナー、初めての落語は語りと演技のすごさに、みんな驚きました。オープニングからフィナーレに至るまで、アイデアと行動力で、私たちに引っ張ってくださいました。中でも、3Aの合唱曲「ここにいる幸せ」3Bの「君とみた海」は、美しい歌声に、それぞれクラスの思いが響きあい、「これが3年生のすごさ」と、鳥肌が立つほど感動しました。さらに、3年生を中心に、吹奏楽部、校長先生達と、客席が一体になって、盛り上がったステージは、最高の思い出です。

部活動においても皆さんは、素晴らしい輝きを放っていました。放課後の校舎に響く、吹奏楽部の音色、体育館を揺るがすほどの声と熱気。汗がしみこんだグラウンド。栄光の裏にある努力と氣力の尊さを、皆さんは、身をもって示してくださいました。皆さんの背中を追って練習に励んだ日々を私たちは、決して忘れることはありません

ん。そして、生徒会では、日常の学校生活を、よりよいものに変えていこうと、「飛躍プロジェクト」を、推し進めてきました。生徒会執行部を中心に、どの委員会活動も、自分の在り方を見つめ、向上するための手がかりとなるものでした。このような活動こそが、岩中の伝統の力なのだと、今、実感しています。

これから、皆さんが進む先は、平坦な道ばかりではないかもしれません。思うとおりにならなかったり、誰かの助けがないと、難しいことがあるかもしれません。しかし、そんなときこそ、皆さんが、岩中三本柱で培ってきた、前向きに努力する向上心、他を思いやる心、粘り強くやり抜く氣力で、自分を信じて、歩み続けてほしいと思います。私たちの、誇りであり、あこがれである皆さんなら、きっと大丈夫です。私たち在校生も、先輩方が大事にしてきた、伝統と精神を受け継ぎ、さらに発展させていくことができるように、がんばっていくことを、お約束します。

答辞(抜粋)卒業生代表 *** **



ご来賓の皆様、諸先生方、在校生の皆様、本日は私たちのために、かくも盛大なる卒業式を挙げてくださり、誠にありがとうございます。また、校長先生からの最後の教え、心温まる祝辞や後輩のみなさんからのお別れの言葉をいただき、多くの祝福に包まれて旅立つ幸せを卒業生一同感じています。

期待と不安を抱きながら迎えた入学式から、3年が経ちました。今この場で「卒業生」と呼ばれていることに月日の早さと、感慨深さ、そして幾ばくかの寂しさを感じております。私たちの3年間は、自主・創造の精神と、黙想・自問清掃・全校武道の三本柱と共にありました。その中で自分と向き合い、自分は今どのように行動しなければならないのかと自問し、自己を磨くことのできた大切な時間でした。

私たちは第37期生徒会スローガン「飛躍」のもと、一人一人が、昨日より今日、今日より明日、向上していくという思いをもって日々生活し、全校一丸となって様々な行事に取り組んできました。学校祭では「逸品食堂」や「チャリティーマーケット」、3年生総出演で盛り上げた「吹奏楽演奏」、美術部の「体験コーナー」などの恒例のものから、年々変化を遂げる「演芸」や「お楽しみコーナー」など、地域の方々に楽しんでもらえるよう、工夫を凝らし、生徒と先生方も一体となって盛り上げました。

部活動でも日々練習に励みました。バドミントン部、今野**さんの東北大会出場を始め、男子バスケットボール部、吹奏楽部の全県大会出場、野球部の地区大会準優勝など、各部活動で華々しい成績を残しました。仲間と共に高め合い、汗を流し、悔しさ、喜びを分かち合い取り組んでいるその姿は、とても輝いていました。歯をくいしばり、仲間と全力で駆け抜けた時間は、私たちの心に残り、これからの支えとなってくれることでしょう。

在校生のみなさん。私たちを信じてついてきてくれてありがとうございます。みなさんがいてくれたからこそ、私たちは最高学年としての自覚をもち、頑張ることができました。今、私たちからみなさんへ岩城中学校のバトンをつなぎます。皆さんならこの岩城中学校をさらにより良いものにできるはずですよ。仲間と過ごすことのできる時間は3年間しか与えられていません。この一瞬一瞬を悔いのないように、仲間を大切にしてください。

私たちを温かく見守ってくださった先生方と職員の皆様。友達のように笑い合い、楽しい時間を過ごし、時には厳しく叱ってください、私たちは成長することができました。そこには私たちへの愛がありました。たくさんの迷惑と心配をおかけしました。先生方のおかげで私たちは、楽しく学校生活を送ることができました。3年間私たちに寄り添い、導いてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。校長先生の教え、4つのCH、チャンス、チェンジ、チャージ、チャレンジを胸に、氣力で人生を切り拓いていきたいと思えます。

ご来賓のみなさま、私たちを温かく見守っていただき、ありがとうございました。皆様に今日こうしてお祝いしていただけることをうれしく思います。私たちをどんな時でも支え、応援してくれたお父さん、お母さん。たくさん心配させてしまいました。私たちのことを第一に考えてくれました。「家」というあたたかな存在は、心を癒やす支えとなっていました。そんな支えの中、私たちは様々な経験をし、成長することができました。この先も心配をかけてしまいますがよろしくお願ひします。

最後に、第37期生のみなさん。私はこの3年間を皆さんと過ごすことができ、本当に良かったです。他愛もない話をたくさん笑い合いました。そんな何気ない日々も私の中では輝いています。皆さんと過ごす全ての時間が大好きでした。この時間がずっと続いてほしい、そう思っていました。私たちは前へ進まなくてははいけません。しかし、私たちにはこの3年間の大切な思い出があります。それは私たちの人生を彩り、支えてくれるものとなるはずですよ。私はこの3年間をみなさんと一緒に過ごせて幸せでした。今日まで一緒にいてくれてありがとう。



今頭の中に、学校祭で合唱したゆず作詞作曲「友」の歌がよぎります。

友、進むべき道の先に どんなことが待っていても
友、この歌を思い出して 僕らを繋ぐこの歌を
この岩城中学校から旅立ち、自分が決めた次のステージでこれからの日々を送ることになります。岩城中学校で学んだたくさんの教え、思い出を胸に自分の思い描く未来に向かって歩んでいきましょう。



卒業
おめでとう